



令和7年度 教育活動の重点

校長 斉藤 境栄

令和7年度を迎えました。お子様のご入学・ご進級、まことにめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。令和7年4月1日より、保谷第二小学校の校長として着任いたしました斉藤 境栄（さいとうきょうえい）と申します。どうぞよろしく願いいたします。3月までは日野市立東光寺小学校で校長として勤めておりました。日野市には高幡不動尊、多摩動物公園があります。年始の初詣などに高幡不動尊へお参りに行かれた、お子様とともに多摩動物公園へ行ってライオンバスに乗った…そのようなご経験がある方おられるでしょうか。また、新撰組副長の土方歳三や六番隊長の井上源三郎らの出身地で、「新撰組のふるさと 日野」と称しています。文化遺産、自然、娯楽施設などが数多くあります。ぜひお出かけください。

さて、今年度も、本校の教育活動への深いご理解とご協力を賜りますようよろしく願いいたします。今年度の保谷第二小学校が目指す学校像は以下の2つです。

1 「安心・安全な学校」

学校では授業、給食、掃除、学校行事、その他様々な教育活動を実施しています。これら全ての教育活動の基盤は、「安心」「安全」であると考えます。安心・安全な学習環境の整備、安心・安全を確保するための児童一人一人の思いやりの心や危機に対する判断力を育成します。

2 「子どもが嬉々として登校し、自分の成長を実感する学校」

嬉々とは、笑い楽しむさま、喜びうれしがるさまという意味の言葉です。児童一人一人が学校生活を楽しく過ごし、「今日は楽しかった。」「また明日も学校に来たい。」と感じる学校を目指します。「楽しい」とは、表面的な楽しい、うれしいという感情だけではないと考えます。授業中に学習した内容が理解できて楽しい、じっくりよく考えて課題や問題を解決できてうれしい、友達と協力して取り組むことができている…様々な楽しい、うれしいを作り出すことを目指します。

新たな1年が始まりました。児童にとって、保護者の皆様にとって、地域の方々にとって、様々な皆様方にとって、保谷第二小学校がすてきな学校、より良い学校、魅力的な学校となることをめざし、教職員一同努力してまいります。ご理解、ご協力を賜りますようよろしく願いいたします。